2019年度同窓会九州支部言語聴覚分科会研修会開催報告

2019年11月9日（土）、福岡保健医療学部の本校舎にて今年度の同窓会九州支部言語聴覚分科会研修会が開催されました。福岡保健医療学部の卒業生を中心に卒業後の交流を通し、言語聴覚分野に関する知識の交換の場、また卒業生・先生方が今現在どのように過ごされているかなどの近況を知る場となりました。また言語聴覚学科の爲数哲司学科長より大学院での教育についても御講義を頂き有意義な時間を過ごすことができたかと思われます。

特別講演・症例検討としては摂食嚥下障害の評価・訓練を交えた症例検討として本学の１期生である小山恭平先生、小児分野の症例発表として同じ卒業生である８期生の鍬瑞稀先生に発表を行っていただきました。どちらの話も言語聴覚分野としては誰しもが経験し知識として有する分野であり先生・卒業生を交えて有意義なディスカッションを行えたと思います。

また爲数学科長からは大学院・医療現場における研究・特徴など交えて講演をいただきました。まだまだ発展途中・研究段階が多い言語聴覚分野としては皆様の興味を置ける内容である感じ一層学習意欲が増す場になりました。

次年度も同窓会役員・卒業生および本学の先生・事務の方々の協力のもと言語聴覚分野・医療福祉の現場に尽力ができる有意義な場を提供していきたいと考えているので皆様の一層の協力をお願い申し上げます。

「卒業生・先生との集合」

「爲数学科長による大学院の説明」